



東陽病院産婦人科 平井真紀子

健康ウォッチング

横芝町のみなさん、こんにちは。今回は、婦人科の癌検診についてお話ししたいと思います。現在、子宮癌の検診が広く行われていますが、子宮癌は二種類あって、子宮の頸部(膣測の出口)に発生する子宮頸癌と子宮の内腔に発生する子宮体癌(子宮内膜癌)があります。一般的に子宮癌の検診という場合は、子宮頸癌の検診を行います。両方の検診をする場合もあります。

子宮頸癌の検診の方法は、ヌメアテストと呼ばれる子宮頸部の細胞を擦過(こすってとる)して調べるもので、この意義は癌を初期もしくは無症状のうちに診断するだけでなく、前癌状態(癌に変化してゆく可能性があるが、そうならない場合もある段階)であることからわかる時もあります。いずれの場合も、もう少し多くの細胞を調べる組織診(バイオプシー)が必要となる場合があります。近年、子宮頸癌の発生要因としてウイルス(ヒューマンパピローマウイルス)の関与が示唆されていますが、この場合、定期的な検診により、適切な治療時期、方法を判断することができ、早期に診断、治療を行うことが良いのは言うまでもありませんが、治療方法もその患者さんの状態やご希望により、選択できる場合もあります。

さて、次に子宮体癌のお話をします。子宮体癌は子宮の内腔に発生するため、頸癌

に比してやや検査が困難であると言えます。子宮内に小さな細胞を採取する器具を入れて検査を行います。内腔は超音波や内視鏡を併用しなければ見ることができないために、これらのガイド下に検査を行うこともあります。子宮体癌は癌の中では良性の方にはいる癌ですが、最近日本で増加の傾向にあります。ホルモン(エストロゲン)が病態に関与していることが示唆されていますが、この癌にもやはり前癌状態と

婦人科の癌検診

言える段階があり、検診によってこの時期から経過を見ることが、理想的です。

最後に卵巣癌の検診についてお話ししますが、卵巣癌の検診はあまり普及していません。これは外から細胞を調べるのが簡単でなく、血液検査(腫瘍マーカー)でも早期に高い診断率を得ることができません。超音波(もしくはCT、MRI)の検査では、卵巣が腫大しているかどうかはわかりますが、良性、悪性の判定は困難な場合があります。よって現在ではいろいろな検査を行い、総合判定でもしくは経過も考慮して治療の方針を決定しています。

いずれの癌にも言えることですが、癌は早期に診断、治療した方が治癒率が高い病気ですから、そこに検診の意義があると言えます。

※昨年の4月からご活躍いただいた平井先生ですが、10月1日付で千葉県がんセンターに異動となりました。短い間でしたが、たいへんお世話になりました。

国民年金を受けている人

こんなときは届け出を!

国民年金の老齢基礎年金、障害基礎年金、遺族基礎年金、寡婦年金等を受けている人は、次のような場合にはすみやかに届け出をしてください。

この届け出を忘れて遅れたりすると、年金の支払い月になっても年金が受けられなかったり、年金を受け取り過ぎてしまい返していただく場合もありますのでご注意ください。

事	由	届け出先
年金を引き続き受けようとする時(毎年1回)	現況届	社会保険業務センター
住所や氏名を変えたとき		千葉社会保険事務所
年金を受け取る金融機関や郵便局を変えるとき		
年金を受け取るための通知書をなくしたり、汚したりしたとき		
年金を受けていた人が死亡したとき		
年金を受ける権利がなくなったとき(遺族基礎年金受給者が結婚したときなど)		役場住民課年金係
2つ以上の年金を受ける権利を得たとき		
子の加算を受けている人で、その子に異動があったとき		
年金の支給が停止される事由がなくなったとき		

詳細については、役場住民課年金係までお尋ねください。(☎82-1111 内線247)

